



みんなで遊ぶの 楽しいなあ

子育て支援センター「ひだまり」

議 会 だより

く ね つ ぶ

No.212 12月定例会
2022年(令和4年)2月1日

発行: 訓子府町議会

【特集】令和2年度 決算審査
検証 まちのお金

6P | 一般質問
町政を問う

13P | 議会を傍聴
訓高生の声

16P | 写真で見る
所管事務調査

議会ネット配信を
しているよ
ここから見てね





11月1日～5日 決算審査特別委員会

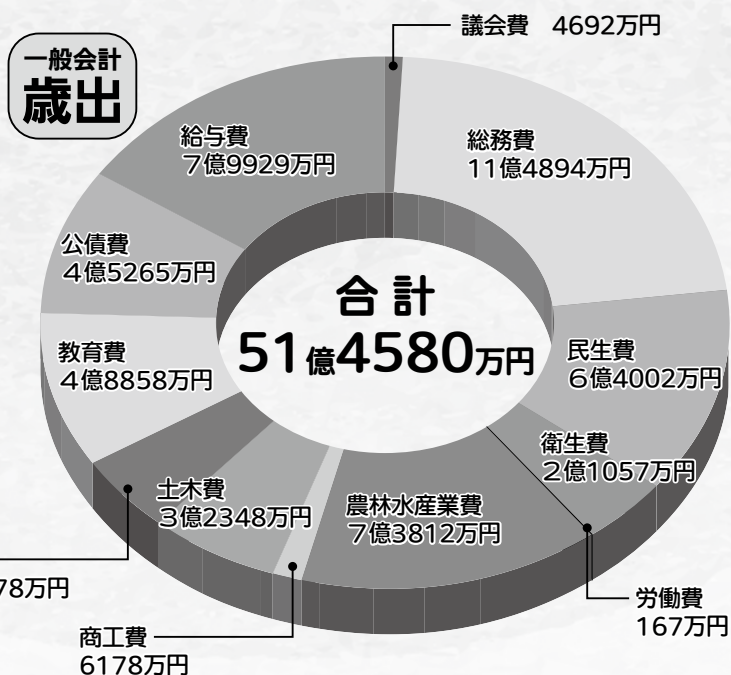
検証

まちのお金

令和2年度 各会計決算

【特集】令和2年度各会計決算審査

令和2年度の各会計決算を審査するため、決算審査特別委員会を開催し4日間にわたり町担当者に詳細な説明を求め、慎重に審査・検証を行いました。その結果『各会計の決算はいずれも正当で認定すべきもの』として議長に報告しました。12月の定例会では、委員会審査報告の後、各会計の決算は全て認定（水道事業会計は可決及び認定）することに決定しました。



コロナ対策費などで
去年より6億円以上
増えているんだね

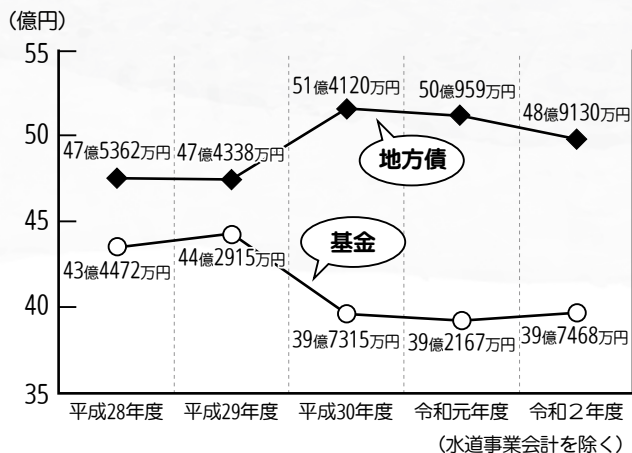


家庭にたとえると
基金は貯金で
地方債は借金のことだね

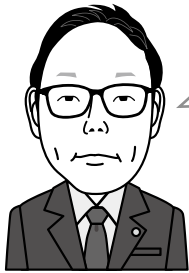
令和2年度 各会計歳出決算額

会計名		決算額
一般会計		51億4580万円
特別会計	国民健康保険	8億2128万円
	後期高齢者医療	9248万円
	介護保険	5億8076万円
	下水道事業	4億847万円
合計		70億4879万円
水道事業会計	収益的収支	1億2454万円
	資本的収支	1億1446万円

基金と地方債の推移



適正に使われたか？



今回初めて決算審査特別委員会の委員長となり、緊張と不安の中での委員会になりました。先輩議員に助けていただき無事に終了することができました。

決算審査特別委員会
委員長 仁木 義人

決算審査委員会は、前年度使った町のお金が適正に使われているかを担当係に質疑応答を繰り返しながら審査・検証を行うとても重要な役割です。

特に今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響も聞き取りするなど、例年とは少し違った審査となりました。

結果

『全て認定すべきもの』

町長への申し入れ事項

○医療・福祉サービス

介護・医療、在宅福祉サービス、高齢者バス・ハイヤー利用サービスなどの福祉の各種事業は、引き続きサービスの利用促進に向けて周知方法の工夫を。

○産業振興

町の活性化につながる産業振興に対する補助事業は、関係団体と協議をしながら、その効果を発揮できるように事業の継続を。

○財源確保

町の施策の実施にあたっては、財源確保に向けて補助金などを最大限に取り込むため、国や道の動向把握を。

私の視点

職員の皆さんのがんばりを評価



副委員長 谷口 武彦

税及び使用料などの未収額の解消については、関係課が横の連携を行い徴収努力と成果が見られ、これからも効率的に努めてほしい。

私の視点

AI診断導入の使い勝手と効果



委員 泉 愉美

健診の過去データを分析し、4つのタイプ別にメッセージ付き案内ハガキを作成でき、長期未受診者の受診につながった。

私の視点

福祉関連事業へのコロナの影響



委員 西山 由美子

社協主催のふれあい昼食会、遺族会などはコロナで中止となり、配食サービスや高齢者ハイヤー券の利用減もコロナの影響が大きかった。



補正予算 など(主なもの)

12月 定例会

12月7・8日

定例会

◆新型コロナウイルスワクチン接種予約受付業務

……………2664万4千円



3回目の新型コロナワクチン接種のため、予約受付業務の委託に要する費用を計上。

質疑から

【議員】 3回目ワクチン接種はどのように行う予定か。

【町長】 前回までとの違いは次のとおりです。

- ① 予約方法は、高齢者を含むすべての対象者はインターネットによるウェブ予約またはコールセンターへの電話予約とする。
- ② 総合福祉センター「うらら」で行う集団接種か訓子府クリニックで行う個別接種のどちらかを選ぶことができる。



今月から始まる
3回目のワクチン接種

町から提案された議案は、各会計補正予算案4件、条例の一部改正など2件で、すべて原案どおり可決、承認しました。その他議長提案の認定6件、報告1件はすべて認定及び可決、了承し、議員提案の意見書案2件はいずれも可決しました。一般質問では、6人の議員が町政をただしました。



ファイザー社製ワクチンは全体の供給量が少なくて他社製になることも考えられるみたいだよ



今年創立74周年を迎える訓子府高校

◆教育費指定寄付金について
訓子府高等学校の振興のために2件の寄付がありました。金額は、ともに100万円です。

◆ジャガイモシストセンチュウの発生確認について
11月21日に、本町で馬鈴しょの重要病害であるジャガイモシストセンチュウの発生報告がありました。町では、直ちに対策本部を立ち上げ対策を講じたところです。今後関係機関と連携の上、まん延防止に努めます。

町長からの 行政報告



議案説明を視聴できます

議 会 だより

No.212 R4.2.1

◆児童センター換気設備設置工事……………364万1千円 



自由来館が再開された児童センター

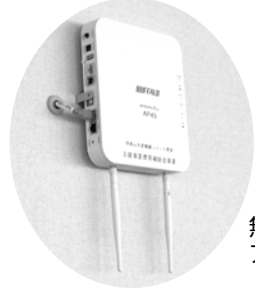
新型コロナウイルス感染症防止対策のため、児童センター遊戯室内に換気扇2基、冷暖房機2基を設置する換気設備設置工事を行う。

◆公共施設等公衆無線LAN環境整備業務……………608万2千円 

新型コロナウイルス感染防止を目的に非接触、非対面のオンライン会議が増加しているため、役場庁舎・総合福祉センター・公民館・こども園に、合計14カ所の無線LANアクセスポイントの増設工事を行う。



オンライン会議が日常的に



無線LAN
アクセスポイント

わたしは こう判断



全員賛成により可決した議件名	
令和3年度各会計補正予算 <input type="radio"/> 一般（議案第54号、議案第59号） <input type="radio"/> 国民健康保険 <input type="radio"/> 介護保険	報告 <input type="radio"/> 出納検査結果報告
条例の一部改正 <input type="radio"/> 町税条例	その他 <input type="radio"/> 議員の派遣
専決処分の承認 <input type="radio"/> 一般会計補正予算	意見書 <input type="radio"/> 燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する要望意見書 <input type="radio"/> 地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める要望意見書
令和2年度各会計歳入歳出予算の認定 <input type="radio"/> 一般 <input type="radio"/> 国民健康保険 <input type="radio"/> 後期高齢者医療 <input type="radio"/> 介護保険 <input type="radio"/> 下水道事業 <input type="radio"/> 水道事業	

※12月定例会では賛否が分かれた議件はありませんでした
 ※須河議長は採決に加わりません



6人の議員が質問

- ◇西山由美子 議員……………P 7
 - ・子宮頸がんワクチン接種に関する現状と課題について
 - ・高齢者支援につながる地域ケア会議の開催状況と課題について
- ◇余湖 龍三 議員……………P 8
 - ・訓子府メロンの振興策について
- ◇山田日出夫 議員……………P 9
 - ・防災体制の整備について
- ◇西森 信夫 議員……………P10
 - ・道路整備の現状と今後の対策について
- ◇工藤 弘喜 議員……………P11
 - ・介護施設利用者の負担増における影響について
 - ・第6次訓子府町総合計画後期重点プロジェクトについて
- ◇谷口 武彦 議員……………P12
 - ・子どもたちが安心・安全に生活できる環境づくりの考えは

一般質問は1人最長60分と定めています。

町政を問う



一般質問は議員が、町の行財政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただすものです。



一般質問の記事は、各議員が音声データを基にして書き上げたものを掲載しています。

問 子宮頸がんワクチン接種の相談体制は

教育長 国・道や医療機関と連携して強化



にしやま ゆみこ 議員
西山由美子

ワクチンの不安解消には親身な相談体制が第一だね

接種実績と周知方法

問 子宮頸がんワクチンは2013年6月から接種の呼びかけを中止していたが、来年度から再開される。

答 8年が経過しワクチンは安全で有効か、本町の現状と課題を伺う。本町の接種実績と周知方法は。

答 本町は、平成23年2月1日から子宮頸がん等ワクチン緊急促進事業により、小学6年か

ら高校1年の女子を対象に任意予防接種として実施している。

平成22年度61人、23年度133人、24年度からは中学1年を対象に16人が接種。

25年度から定期予防接種となったが、その後積極的勧奨が中止となり、1人接種した以後接種実績はない。

周知方法は中学1年女子に、積極的勧奨を行っていない旨のチラシを配布し、子宮頸が

んの病気や予防、ワクチン効果、接種後の注意などの情報提供している。

無料接種対象者数

問 接種再開となると、無料接種対象者はどのくらいいるのか。

答 小学6年から高校1年の女子で現時点の対象者は70人となる。

平成25年から接種機会を逃した方には、国の方針が決まり次第速やかに通知される予定。

相談体制・周知方法

問 ワクチンの安全性や有効性、副反応に対する相談体制、対象者への周知方法など課題は。

答 リーフレットなどを活用し対象者へ個別配

布、ホームページ・広報紙などでワクチン接種の有効性や安全性など必要な情報を広く周知する。

また、副反応などの疑問や不安に 대응するため、国・道や医療機関との連携した相談体制を強化し、安心安全なワクチン接種ができる環境づくりに努める。



一口メモ

定期予防接種と任意予防接種の違い

① 定期予防接種

法律に基づいて市町村が主体となって実施する。接種費用は公費。(一部で自己負担あり)

② 任意予防接種

希望者が各自で受け、費用は自己負担。



この他に「高齢者支援につながる地域ケア会議の開催状況と課題について」の質問をしました。





余湖 龍二 議員

町民の声を
メロン生産に
応援しよう！

問 メロン生産への振興策は

町長 支援策の模索を今後も続ける

問 訓子府メロンは「くんねっぶ」と名の付く自慢の特産品である。そのメロンは平成10年には5万6938ヶ一入あった集荷量が今年には9845ヶ一と落ち込んでいる。生産者への支援に際し町民の意見を聞き、考える時ではないか。

答 現状としてメロンの作付面積の減少に歯止めがかからず、一方で毎年訓子府メロンを心待ちにしている町内外の方々がいるのも事実である。

行政として作物に対する支援および振興策を考える上で、まずは生産組織・農業協同組

合の意見を聞くことが最優先で、振興会役員会にも伺ったがそれを望む声もあまり聞かれず、施策の具現化には至っていない。

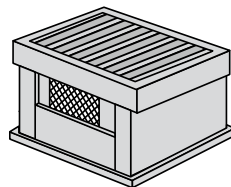
問 町民の想いとは別にメロンがなくなってしまうのは困る。今ある物を維持して頑張れるように、それが町民の望むことではないかと思う。きちんと町として町民の意見を聞くことは大事ではないか。

答 振興会には若い生産者もいる、このような人の腰を折らないように支援をやっていきたい。

議員の言う「今が大変なんだ」に対して今すぐに行政として「分かったやろう」という答弁はできないと言っている。もし、やるんだったらどうしても駄目だったら私の不信任の可決をしてくださいと前回も言った。



くんねっぶメロン



現に議員の人たちだつて生産の実態を知っているから、そのような意見としてまとまっていってきかないと思う。

問 今年度の具体的な振興策は。

答 10月のメロン振興会役員会に職員が伺い今後の生産者数の減少に関する対策について意見交換を実施した。

その中で令和2年度までの花粉交配用蜂箱への助成は大変助かったので継続してほしいとの意見が出された。意見交換の意見を持

ち帰り協議を行った。以前講じた施策と同じ内容を上げることにはならないので、令和4年度にメロン振興のための予算要求には至っていない。

問 私が行った生産者へのアンケートの返答の中に振興施策として、以前行った内容やハウスの自動巻き上げ機補助・価格保証などの要望が多々あったが、何らかの支援が必要ではないか。

答 メロン生産組織から継続してやってほしい

と意見があれば、やることはやぶさかではない。本当に必要ならやるべきだ。



余湖議員の一般質問を視聴できます

問

新消防庁舎建設で活動面の改善点は

町長 広い敷地内で各種訓練が可能に

新消防庁舎建設と 消防活動の改善点

問 新庁舎建設で消防職員と団員の活動面での改善点は。

答 駐車場が広く昼夜を問わず大型防災訓練など各種訓練が可能だ。訓練塔の室内放水など教育訓練も向上する。
問 事務室や団員スペースが狭く感じる。また、広い駐車場ですべての訓練をするのか。

相内線と南12線交差点の交通安全の周知を徹底すべきでないか。

答 団員の意見を聞いており問題は無い。敷地内の訓練が可能と承知している。住民への交通安全のPRは徹底する。

問 団員への感謝と消防団の維持からも消防功労者の勤続25年は特に長すぎるので、短縮の考えは。

答 提案の趣旨は理解するので顕彰審議会で検討したい。

町民に身近な 新庁舎の活用

問 新庁舎を町民が身近に活用してはどうか。

答 従前から児童などの見学をしているほか、新たに煙体験の空間も整備する。

今後は地域防災組織や地域団体、事業所などの訓練にも活用する。

問 町民の防災思想学習に消防職員と庁舎を活用すべき。また「消防まつり」を年に一度開催し防災思想を広めてはどうか。

答 提案は関係の消防組合や消防団と検討する。

自主防災組織の 活動状況と支援

問 各自主防災組織の現状と支援の考えは。

答 現在6町内会と2実践会に組織があり、コロナ禍で活動が停滞しているが、今後設立の勧奨を進める。育成支援補助金と職員参加の支援などに努める。

問 自主防災組織にポンプなどの資機材を配備したり、農閑期の土のう作りなど訓練を兼ねた活動を支援すべき。

答 町内数か所に土のうを置いていますが、今後支援内容は検討したい。

暴風雪時の高齢者 生活の支援

問 暴風雪時の高齢世帯への生活支援は。

水害時の機動力と 機動力の整備

問 水害時の防災機動力と機動力の整備は。

答 機動力は初動体制マニュアルに沿って行う。警戒レベルによりパトロール、バリエード、土のうなど各班分担制で行うが、状況に応じて消防団出動の要請もする。機動力は町所有のシヨベル2台、ダンプ1台、バックホウ1台、排水ポンプを動員する。重機借り上げ、建設業協会の機械や人員の応援もいただいている。開発建設部の大型ポンプ車の出動要請も加え万全を期したい。



やまだ ひで お
山田日出夫 議員

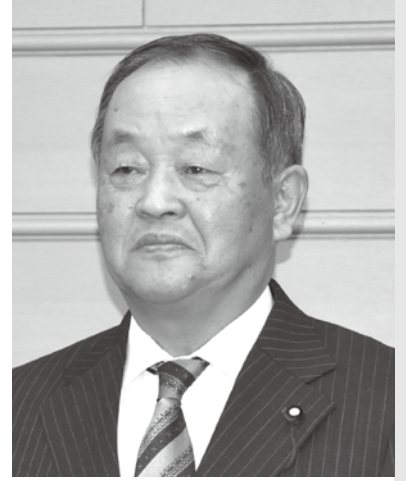
庁舎建設が町民の安心安全に直結してほしいです



新しい防災の拠点作りが着々と進む



山田議員の一般質問を視聴できます



にしもり のぶお 議員
西森 信夫

みんなの笑顔で
いい年にしたいね

問 道路整備の現状と今後の対策は

町長 各整備計画に基づき対処する

本町の道路整備の経過と今後の対策は

問 ライフラインの一つに道路問題がある。

モータリゼーションの発達により利便性が良くなった反面、整備改良、補修など多額の費用と時間がかかる。号線整備はどのような構想で行われてきたか。

答 地元関係者や農業団体などからの要望を受け実施してきており、整備に当たっては町費負担割合の低い道営事業や各種補助事業などにより進めてきた。

事業実施に当たっては、国や北海道が制定する農道整備基準に基

づき、農家戸数、受益面積、生産施設の有無などが採択の要件となる。

ていきたい。また市街地区域の多くの町道は整備後20年以上経過している。通常の舗装、補修のパッチングだけでは維持管理が難しく、修繕順位を定めた舗装修繕計画により、来年度以降本格的に修繕していくことにしている。

問 市街地道路整備の現状と今後の考えは。

置き雪の除雪実施へ

答 各種補助事業などにより早くから整備され、実延長49kmのうち約45kmが舗装化されている。未整備の町道については、町内会の意向も聞きながら適宜整備し

は、町訓子府は豪雪地帯ではないが、ひと冬に2、3回の積雪がある。その降雪時の除雪に伴う商店や個人宅の玄関先の除雪、排雪が問題となってくる。高齢化と

人手不足で、対応策として出入口1か所の除雪はできないか。

除雪を実施することにした。

答 除雪に伴い起きる住宅や車庫などの置き雪は、現在沿線住民の方々に対処してもらっているが、高齢者の方々に

問 農業機械の大型化に伴い将来の農道整備、補修、改修の考えは。

とっては処理すること、それが難しくなってきたり、その対策を町内会からも要望が出されている。そのため、今年度試行期間として80歳以上の単身世帯と夫婦世帯のうち、希望する世帯を対象に町内事業者の協力を得て置き雪

答 昭和50年代整備の農道劣化進行度合いが著しく早急な改修が必要となる。これら路線を優先して事業化に取り組み、大型化した機械の通行にも対応できる工法などを検討したい。未整備農道は、退避場設置など地域の声を聞き進めたい。



整備が待たれる砂利道



改良舗装された町道



西森議員の一般質問を視聴できます

問 静寿園入所者への負担増に伴う影響は

町長 負担が増えた入所者は12人に



くどう ひろき 議員
工藤 弘喜

これからのまちづくりにも価値観の見直しが必要かな

問 介護保険制度では、今年の8月から住民税非課税世帯利用者の食費・居住費負担を軽減する「補足給付」制度の見直しがされた。世帯全員が住民税非課税世帯では前年の合計所得金額と年金収入が120万円超の人は、食費負担が月2万円程度から4万2千円ほどに増加する。

答 8月以降の負担軽減の対象者47人のうち、負担が増えた入所者は12人である。この中で最も大きく影響を受けた人は月額2万3850円、年額では28万6200円の負担増で、一人当たりでは月額2万1764円、年額では23万9400円の負担増となる。



くねっぶ静寿園

問 このような状況に対して町の対応は。

答 施設側との協議をしながらどのようなことができるのか検討したい。併せて、今後制度を運営していくためには国や北海道に対して「このままではいけない」という声を、施設側も含め皆で上げていかなければならないと考える。

問 生きづらさを抱える人たちへの対応は

町長 情報を共有し連携を密に進める

総合計画前期の検証と課題は
安心して住み続けられるまちに向けて

問 平成29年度から令和8年度までの10年間の期間とした「第6次訓子府町総合計画」を策定した。令和3年度までの5年間の「前期重点プロジェクト」として取り組み、令和4年度から8年度までの5年間の「後期重点プロジェクト」として取り組むことになっている。前期取り組みの検証と後期に向けた課題は。

答 概ね実施されているが、地元企業の就労促進の一部内容見直しの検討や健康づくりに向けた運動指導事業の福祉と社会体育のさらなる連携強化、自主的防災活動への支援のあり方など改善や課題が出され、加えて脱炭素社会への取り組みやデジタル変革推進への対応も課題である。

問 どのようなように町民の理解や協力を得ていくのか。

答 限られた経営資源を計画的かつ効果的に活用し、職員一人一人が事業目的を意識し、各事業の周知や町民ニーズの把握に努め取り組みを進めていきたい。





たにぐち たけひこ 議員
谷口 武彦

子育て真っ盛り
まちの支援には
感謝しています

防犯カメラ

問 犯罪と子どもの見守りのために設置した防犯カメラだが、活用された事例と効果検証は。

答 事例としては、事件事故の捜査のため、警察から2件のデータ提供依頼があった。効果は、設置した3

か所で不審者情報はなく、事件の抑止効果は大きいと考えている。

問 子どもの見守りとしては小学生だが、性犯罪などに巻き込まれる被害が多いのは中学生や高校生である。

答 安心して学校に通える環境づくり、防犯カメラ増設の考えは。



町内3か所に設置の防犯カメラ

通学路の見守り

問 通学路の見守りは。

答 登校時、地域の方々の協力で見守り活動を進めている。

また、関係機関による「通学路安全推進会議」を設置し、町内の安全点検を行った。

問 下校時の通学路が暗いという声が多いが、補助的なライトなどを設置する考えは。

答 設備的な問題もあるため、今後研究をしながらか対応していきたい。

インフルエンザ

予防接種

問 子どもインフルエンザ予防接種費用の一部を助成しているが、数量が少なく希望しても接種できない方が多いと聞いている。

答 医療機関と情報確認や連携は取れているか。

答 地元医療機関と協議し、一定量のワクチンを子ども専用確保してもらい、子どもたちが接種しやすい日時を指定するなど、医療機関と連携して接種奨励に努めている。

ゆめゆめ館自由来館

問 児童センターの自由来館、再開の見通しは。

答 新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、冬休み明けには再開できるような準備を進めていく。

トイレを洋式に

問 屋外のトイレ洋式化などの改修計画は。

答 トイレ更新の際、利用実績を把握した中で次年度以降、計画的に整備する。

高校生医療費無償

問 高校生への医療費無償化にした場合見込まれる予算は。

答 今年度の対象者で推定したところ、350万円ほどである。

問 町長の公約でもある高校生の医療費無償化。管内では10自治体ほどが行っているが、今後の考えは。

答 コロナ禍により、地方財政対策が不透明にあることから、今後の財政見直しを立て、見極めていきたい。

問 子どもたちが安心して生活できる、環境づくりの考えは。

答 質問があったことを含めて、子どもたちのすこやかな成長のため、総合的に万全を期して努めていく。



インフルエンザ予防接種の情報は町のホームページにも



谷口議員の一般質問を視聴できます



議会を 傍聴

訓子府高校生の声

令和3年12月7日に訓子府高校の2年生22人が、一般質問を傍聴しました。

「町議会の運営方法などを学び、地方自治に関する理解を深める」ことを目的とした特別授業として、議会を傍聴した感想が寄せられましたので紹介します。（抜粋）



「想像以上の緊迫感」

◇議員のみなさんが町民を一番に考えて動いているところがすごいと思った。1つ1つの発言も町民を思って言っているのが伝わってきたし、訓子府町をどうしていったら良くなるのかを考えていたのが伝わってきた。

◇メロンの話で時間いっぱいまで話して、メロンの大切さがすごくわかったし、逆に町長や課長さんの気持ちもすごく伝わった時間になったと思います。

◇議会の雰囲気や普段どんな質問を話しているのかなどを知れて良かったなと思います。今回、議会で学んだことを今後、政治に関わるときなどに役立ようと思います。

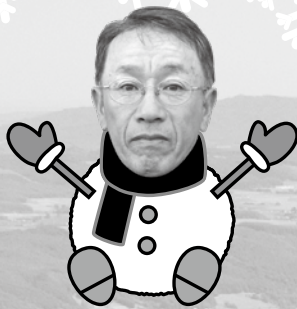
◇議会といえば、静かなイメージがあったので、とても驚きました。私は理想の日本があり、それを叶えるために政治関係を知ることは不可欠です。そのため民主主義の学校と言われている地方自治の町議会を見られてよかったです。

◇予算案についてなどの難しいものをイメージしていたので、身近な訓子府メロンについての議会だったので理解しやすかったです。

◇自分自身、周りの意見に流されやすいタイプなので、町議会の議員の方々が淡々と自分の意見をやり取りする場面には、ただただ圧倒されてしまいました。



しっかりメモしてレポートを提出



小池 寿幸さん
(柏丘)



柴田 将兵さん
(東町)



齊藤 麗紗さん
(北栄)

◆町にとって、高校存続と静寿園の老朽化は大きな課題であることが理解できた。
今後も継続テーマとして行政とともに課題解決に向かって歩みを進めてください。

◆表紙にギカイ君がスマホをもっている絵が毎号載っていますが「ユーチューブ始めました」とか「議会をインターネット配信で見てみよう」とかの文言を入れて、見てくれる人を増やす工夫があった方が良くと思います。
せめて1年間くらいは「ユーチューブやってます」を発信し続けたらよいと思います。現状、お知らせ不足かと…。

◆今回特集が2つ。意見交換会はとてもいいと思う。
私事かもしれませんが訓子府高校の存続について、ほかの議員さんも意見があり、今、訓子府高校のために何ができるのか、町にたった一つの高校を残すために卒業生たちからもいろいろな意見を聞きます。
大きく取り上げてもらえたことに感謝します。

議会モニターひろば

議会モニターからの意見をご紹介します。

- ◇議会だより(11月1日発行211号)
- ◇議会ホームページ
- ◇議会インターネット配信について



水落 肇さん
(若富町)



岡崎佐智子さん
(栄町)

◆ホームページは特に不自由なく、見づらくもなくいいと思います。

◆レイアウトなど紙面の内容についてはモニター期間の中でみるみる改善されていき、完成されてきていると思う。

◆一般質問ページの議員さんの一言が目立ちすぎている気がする。
内容とのギャップがありすぎて質問内容が入って来づらい。載せるのであれば別のページ、またはテーマを決めて行ってはどうかと思う。

◆ホームページもモニター期間を通して改善され、見やすくなっていると思います。特に不満はありません。

◆特集記事の意見交換会は、各々課題を簡潔に紙面も統一されていてわかりやすくまとめられ、関心をもってもらえると思います。

◆「表紙」「特集」「インタビュー」「みんなの声」に訓子府高校が取り上げられていて、存続に向けて応援し進んでほしいと感じました。

議員の公務の出欠状況

議会基本条例に基づき公表します。

令和3年11月1日～令和4年1月31日

月 日	会 議 名	余湖	西森	山田	仁木	西山	泉	谷口	工藤	河端	須河
11月 1日	決算審査特別委員会（～5日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11日	議会だより見直し隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18日	産業建設常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会だより見直し隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 7日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第4回定例会（～8日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会だより見直し隊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23日	総務文教常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月 7日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	葬
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	葬
14日	総務文教常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26日	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：出席 欠席理由（葬＝葬儀）

なお、出席を求められないものは斜線表示としています

自治功労表彰を受ける余湖議員



**余湖議員
町功労表彰を受賞**

昨年11月3日に開催された町頭彰式で、余湖龍三議員が地方自治発展の功績が認められ、自治功労表彰を受賞しました。

余湖議員は、平成23年5月から現在まで、10年以上にわたり町議会議員を務めています。

写 真 で 見 る



所管事務調査

今年度の所管事務調査(現地調査)のようすを写真で紹介します。



今年で4年目のアート・タウン・プロジェクト作品「HOME TOWN」を見てきたよ。
町の農村風景をかたどった作品で、人工大理石でできていて座ってもいいんだって。
レク公園で探してみてね。



調査所見

訓子府の歴史を物語る一連の作品の背景を説明する総合案内設置の検討を求めた。



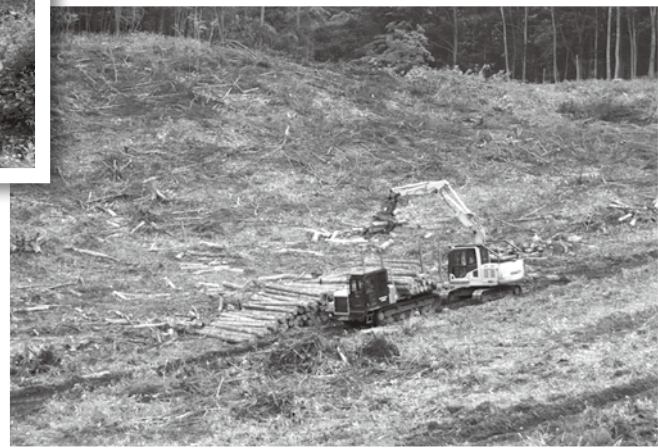
駒里の町有林の伐採現場を見てきたよ。
切った木は思っていたより高く売れたよ。

ここには2年間かけて新しく木を植えていくんだ。



調査所見

将来的にドローン等の最新技術導入の検討を求めた。





調査所見 団員・職員の意見が十分に取り入れられた設計となっている。



建設中の消防庁舎を見てきたよ。建物の完成は3月31日で、外構工事をしたあと10月から使われるんだって。

オレは40年間子どもたちの成長を見守ってきたぜイ!!

町には遊具のある公園が11か所あるんだよ。定期的に点検してくれてるよ。



調査所見 シルバー世代の活用も意識した公園のあり方の検討を求めた。



調査所見 幸栄団地、穂波団地の改修は、良好に施工されている。

改修された公営住宅を見てきたよ。これからも快適に長く住んでもらえるための工事だったよ。



常任委員会の調査結果報告は次号でお知らせします。

定例会レビュー

12月定例会を振り返る

議会運営委員会では、定例会終了後にその運営を振り返り、よりよい議会運営をめざしています。一部をご紹介します。

◆一般質問で、3回連続で同じテーマを質問したケースがあったが、議会運営委員会として事前に調整をするべきだったか。

▽同じ質問をすること自体は制限されるべきではない。質疑応答の内容により検討の必要性がある場合は、議会後に全議員で協議する。

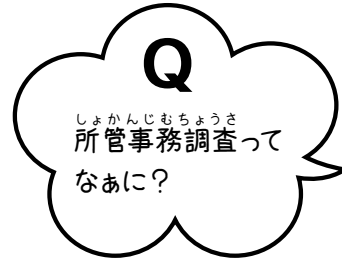
◆一般質問で、持論の展開が長く、結果として何を質問したいのかわかりにくいケースが見られた。

▽常に質問項目をわかりやすく、明らかにする工夫が必要である。

質問も
募集しています



議会のことを
もっと知りたい



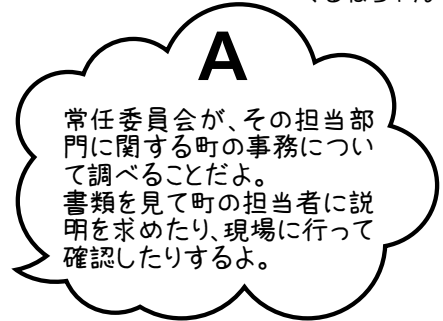
Q
しょかんじむちょうさ
所管事務調査って
なあに？



たれカツ乙女
くるねちゃん



ギカイくん



A
常任委員会が、その担当部門に関する町の事務について調べるのだよ。書類を見て町の担当者に説明を求めたり、現場に行き確認したりするよ。

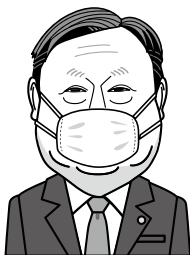
主なうごき

11月	
3日	功労者等顕彰式(全議員)
6日	オホーツク圏活性化期成会管内選出北海道議会議員への要望会、意見交換会(北見市:議長)
8日	小清水町議会視察受入れ(議長)
13日 ~16日	姉妹まち締結20周年記念訪問(高知県津野町:議長)
29日	老連ゲートボール大会(議長)
12月	
17日	社会福祉協議会 理事会、評議員会(議長)
1月	
4日	武部新衆議院議員新年初顔合わせ(北見市:議長)
5日	訓子府消防団出初式(全議員)
6日	公職者等新年交礼会(全議員)
9日	成人式(正副議長、総文委員長)

ときよしせつ 時世時節

訓子府町議会議長 須河 徹

「議会の見える化」
町民の方に議会活動が見え、議会に興味を持ってもらい、わかりやすい議会を目指して「議会だよりのリニューアル」と「議会のインターネット配信」を始め、議会の見える化を進めた。議会の情報を議会の中に埋没させてはならない。議会を見える化し、町



民の方が見て、気軽に意見を述べ、比べ、みんなで会話をする。その中から意見や新たな考え、知恵を議会にフィードバックする。
議会は町民の方々と共に「より良いまちづくりに」努めたい。

時世時節 その時その時のめぐりあわせ、時代ごとの世の中の様子



桂浜・坂本龍馬像



カルスト台地



高知城



早瀬の一本橋



津野山古式神楽



職員人事交流調印式



見送られて

姉妹まち締結20周年交流事業参加報告

訓子府町議会議長 須河 徹

訓子府町の開拓は、明治30年5月高知県の北光社移民団13戸45人が大谷地区に鎌を下しました。豊かな緑と肥沃な大地、現在の訓子府町の礎となりました。先人の労苦を忘れることなく後世にわたる両町の交流を深めようと「姉妹まち」を締結してから20年を迎えました。

津野町で開催された締結20周年記念式典に町民40人、交換留学生OB、菊池町長、事務局を含め総勢51人で津野町を訪れました。記念式典では「職員人事交流調印式」のあと、池田町長、菊池町長、両町議長挨拶に続き、締結20周年記念動画「交流の歩み」が上映されました。

交流会では、20年の時間を振り返りながら、人事交流により訓子府町に派遣された津野町の職員や、現在も訓子府町の町民と交流ある方々と久し振りの再会を楽しみました。私としては、2年ぶりの訪問となりますが、前回と同じく、今回も変わらぬ歓迎を受けました。

吉村虎太郎の生家、津野山古式神楽などさまざまな触れ合いの中で、津野町の方々の心からのおもてなしに感激しました。心より感謝を申し上げます。

議会モニターを募集します

議会基本条例に基づく町民参加の議会を進め、町民の皆さんの声をお寄せいただき今後の議会活動に反映させていただくために『議会モニター』を募集します。

モニターの仕事内容や申込方法など、くわしくは広報くんねつぶ（2月1日発行）に折り込みしているチラシをごらんください。

みなさんのお応募をお待ちしています。

きかせて!

子育て支援センターで聞きました



おおた あやな
太田 絢菜さん
(大町)
ひな
陽菜ちゃん(3歳)
ようすけ
耀介ちゃん(1歳)



おがた あい
尾形 亜衣さん
(大町)
ゆうり
祐吏ちゃん(3歳)
かいり
海吏ちゃん(1歳)

みんなの



- ①人が温かく優しいです。子育てしやすい町で、ストレスなく子育てできています。
- ②思いやりをもって、人を気にかけられる子になってほしいです。
- ③支援センターでは友だちと仲良く遊んでいます。家では人形遊びが好きです。

- ①地域のつながりが深いのがいいですね。子育てしやすい環境があるのも魅力です。
- ②どんな子とも分け隔てなく、仲良くできる子に育ってほしいです。
- ③お兄ちゃんは、かくれんぼやプラレールが好きです。弟はお兄ちゃんと遊んだり、テレビに合わせて踊っています。



くぼた たかこ
窪田 貴子さん
(西幸町)
ひろみち
大道ちゃん(1歳)



さいとう まみ
齋藤 麻美さん
(清住)
がくと
岳斗ちゃん(5カ月)

- ①中心部に住んでいるので、近くに何でもそろっていて用が足りるのが便利です。産後の孤独を感じる時期の新生児訪問がありがたかったです。
- ②好きなことを見つけてほしいですね。友だちに恵まれると嬉しいです。
- ③乗り物に夢中で、電車やはたらく自動車のおもちゃを走らせています。

- ①訓子府の良いところは？
- ②どんな子に育ってほしい？
- ③好きな遊びは？

- ①町民同士の仲が良く、気軽に相談できるところです。上の子が通う学校でも、先生がとても熱心に見てくれています。
- ②何事にも挑戦してもらいたいです。素直で、周りに優しくできる子に育ってほしいです。
- ③まだ小さいので、おもちゃより人に興味を持っているようです。ひざの上に座らせてスキンシップを大事にしています。

4年間の任期のうち当初の約10か月を除き今日までコロナ対応の課題が大方を占めました。この間外出自粛や人との距離を取るなど感染防止の対応が求められ、町民の皆さんも議会も歯がゆさを感じてきたと思います。

議会や議員活動に



は、課題解決に向け皆さんとの対話も大切です。残された任期で定例会はあと5回。町民に開かれた、信頼と負託に応える議会を目指し全議員で頑張ります。

工藤 弘喜

あ と が き

ここに注目!



消防庁舎ができるまで③

令和3年12月23日撮影



訓子府町議会ホームページ